

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

平成 28 年 10 月 18 日

埴町議会議長
大縄武夫 様議員定数等検討協議会
提出者 会長 鈴木 茂

派遣目的 (調査等 名称)	議員定数等検討協議会視察研修		
派遣の 日時	平成 28 年 10 月 12 日 (水) 9:50~15:15	派遣先 (場所)	西会津町、猪苗代町
内容	<p>西会津町議会及び猪苗代町議会の議員定数見直しの経過聞き取り及び意見交換</p> <p>出席者 (埴町議会) 議長 大縄武夫、会長 鈴木茂、副会長 鈴木安次、議員 鈴木孝則、議員 割貝寿一、議員 吉田克則、議員 七宮広樹、事務局 藤田衛昌</p> <p>(西会津町議会) 議長 武藤道廣、副議長 青木照夫、議会運営委員長 清野佐一、議会活性化特別委員長 荒海清隆、同副委員長 伊藤一男、議会事務局長 渡部峰明</p> <p>(猪苗代町議会) 議長 長沼一夫、副議長 後藤公男、議会運営委員長 渡辺真一郎、総務常任委員長 金本久美子、議員 関沢和人、議員 佐藤英一郎、事務局長 大嶋善一</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>西会津町 見直しの経緯</p> <p>平成 25 年 3 月に活性化特別委員会により見直しに着手し、各議員より意見の聴取や協議をつづけたが定数削減はまとまらなかった。その理由として広い町内面積、安心安全の問題住民意見の声の反映、若者が議員になれる環境づくりなどの観点から、単に経費節減を目的とした定数削減は疑問であるとしておりそれにともなって議員報酬の見直しがあり 28 年 3 月に報酬引き上げをおこなった。定数見直しについては、現在も協議を行っているがどうなるかは不透明である。</p> <p>考察</p> <p>いろいろな経緯があったようだが結果として報酬のみアップとなってしまう町民からお叱りを受けたとのこと、報酬と定数は連動していると思われ同時が望ましいのではないかと思います。</p>		

猪苗代町

見直しの経緯

平成26年、議運で協議を開始、特別委員会ではなく全協で行うこととした。議員の無記名レポートにより、意見を聴取した。定数と報酬は同時に検討することとし、全協ではなく議員懇談会で討論をおこなった。平成27年、全員の一致は図れなかったが定数削減が多数を占めた。(報酬は討論せず)3月議員提出議案として定例会に2名削減の条例を提出したが否決となった。6月定例会に1名削減の条例が可決となった。現在奇数での議会となっているが常任委員会が3つあり定数は各々5名となっている。デメリットはさほどないがやっぱり偶数がよいのではないかということでした。

考察

定数削減の意見集約が甘かったのではないかと思います。結果として議員提出案件でありながら否決となり二度目でようやく可決となり、議会のクオリティーが下がったような気が致します